

科目名	スクールソーシャルワーク論					開講 キャンパス	神 埼
担当者	松 田 次 生						
開講年次	3	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	不登校、いじめ、暴力行為、児童虐待、貧困家庭、障害など特別な支援を要する課題に対しては、個々への支援とともに、家庭、友人関係、地域等の環境に働きかけていくことが重要である。本講座では、これらの諸課題に対する福祉的な支援と、そのための社会資源について学ぶ。						
授 業 の 到 達 目 標	1) スクールソーシャルワークの意義について理解し、説明することができる。 2) スクールソーシャルワークの歴史と実態について述べるすることができる。 3) スクールソーシャルワークの関連活動について理解することができる。 4) 不登校、いじめ、暴力行為、児童虐待、生活困窮家庭等の実態をつかむことができる。 5) 課題に対する福祉的な支援（ソーシャルワーク的支援）方法を理解することができる。 6) 課題解決のための社会資源について理解し、活用する方法を身につけることができる。 7) 福祉と教育の関連について説明することができる。						
学習方法	講義						
テキスト及び参考書等	「スクールソーシャルワーク概論」（松田次生著）						
評価基準・方法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	○				80	
小テスト等							
宿題・授業外レポート			○			10	
授業態度			○				
受講者の発表							
授業への参加度			○			10	
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	スクールソーシャルワークとは						
第 2 週	スクールソーシャルワークの内容						
第 3 週	スクールソーシャルワークの関連事業①						
第 4 週	スクールソーシャルワークの関連事業②						
第 5 週	不登校の実態とその福祉的支援						
第 6 週	いじめの実態とその福祉的支援						
第 7 週	暴力行為の実態とその福祉的支援						
第 8 週	児童虐待の実態とその福祉的支援①						
第 9 週	児童虐待の実態とその福祉的支援②						
第 10 週	生活困窮家庭の実態とその福祉的支援						
第 11 週	障害とその福祉的支援						
第 12 週	被災とその福祉的支援						
第 13 週	社会資源の活用①						
第 14 週	社会資源の活用②						
第 15 週	まとめ						
第 16 週	定期試験						
備 考	授業外学習（事前学習・事後学習）の指示：毎回「復習問題」を配るので次の時間までに必ずやっておくこと。						